

介護職員初任者研修カリキュラム【①通学課程】

【通信課程】は
8頁からです

1 職務の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスと理解	2.5 時間	【演習】 ・福祉サービスとはどのようなものがあるか（イメージでも可）グループワーク。DVD視聴。 【講義内容】 ・グループワークを踏まえて、様々なフォーマル・インフォーマルサービスを理解
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5 時間	【講義内容】 ・サービス提供する現場の実際 ・サービス提供に至るまでの流れ ・社会資源との連携 ・現場職員の体験談 【演習】 ・どのような介護職になりたいか等グループワーク。
合計	6	
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①人権と尊厳を支える介護	6時間	【講義内容】 ・人権・尊厳の保持 ・ノーマライゼーションの意義 ・ICFやQOLとは ・拘束・虐待とは。 ・個人の権利を守る制度 【演習】 ・身体拘束・虐待についてグループワーク等
②自立に向けた介護	3時間	【講義内容】 ・自立とは ・介護予防・自立支援、個別ケアとは 【演習】 ・介護技術（生活支援）としての個別ケアについてグループワーク
合計	9	

3 介護の基本（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護職の役割、専門性と多職種連携	2時間	【講義内容】 ・介護環境の特徴 ・介護の専門性とは ・他職種とは、連携とは
②介護職の職業倫理	1時間	【講義内容】 ・職業倫理（利用者本位、自立支援等） ・個人情報の取り扱い方（個人情報保護法等）
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	2時間	【講義内容】 ・安全確保・安全対策 （リスクマネジメント、リスクアセスメント） ・感染対策の基礎的理解 【演習】 ・危険予測用紙を使用し個人・グループワーク
④介護職の安全	1時間	【講義内容】 ・腰痛予防 ・ストレスマネジメント 【演習】 ・腰痛体操
合計	6	
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度	3時間	【講義内容】 ・介護保険制度創設の背景および目的、動向 ・介護保険制度の仕組み等基礎的理解 ・制度を支える財源、組織・団体の機能と役割
②医療との連携とリハビリテーション （医行為と介護・訪問看護に関する部分）	2時間	【講義内容】 ・医行為とは、介護でできることは何か ・訪問看護 ・チームケアとは 【演習】 ・喀痰吸引等のデモンストレーションを行う
②医療との連携とリハビリテーション （リハビリテーション医療に関する部分）	2時間	【講義内容】 ・リハビリテーションとは。 ・障害の考え方。 ・高齢者のリハビリテーションとは 【演習】 ・片手（利き手ではない方）で、字を書いてみる ・片手（利き手ではない方）で、折り紙を折る等、自身で実感してもらう。
③障害者自立支援制度及びその他の制度	2時間	【講義内容】 ・障害者福祉制度 ・障害者自立支援制度の基礎的理解。 ・個人情報保護法・成年後見制度・日常生活自立支援事業
合計	9	

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
1 介護におけるコミュニケーション	3時間	【講義内容】 ・コミュニケーションの目的とは ・利用者・家族とのコミュニケーションの技法 ・障害別コミュニケーションの技法等 【演習】 ・障害別事例でロールプレイを行い、コミュニケーションの大切さ、伝え方等を理解する。
②介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	【講義内容】 ・職員間のコミュニケーションの大切さ ・観察、記録、情報伝達の重要性 【演習】 ・観察・記録について事例を使って演習
合計	6	
6 老化の理解（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①老化に伴うこころとからだの変化と日常	3時間	【講義内容】 ・感覚、知覚、記憶等の様々な変化の理解 ・機能変化と日常生活への影響 【演習】 ・老化の変化には、どのようなものがあるか等 （個人・グループワーク）
②高齢者と健康	3時間	【講義内容】 ・高齢者に多い疾患の基礎的理解、留意点 【演習】 ・自身が日常生活で（健康について）気を付けていることを個人・グループワーク。留意点を理解する
合計	6	

7 認知症の理解(6時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①認知症を取り巻く状況	1時間	【講義内容】 ・認知症の現状 ・認知症ケアの原則
②医学的側面からみた認知症の基礎と健康管理	2時間	【講義内容】 ・認知症の概念 ・原因疾患の理解と対応法 ・健康管理 【演習】 ・同じ事を何回も繰り返し訴えることや見えないものを見えたと訴えることについて、黙って聞く・反論する・繰り返し聞く等実践し、感情の変化に気付く(1対1)
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2時間	【講義内容】 ・中核症状、行動、心理症状(BPSD)の理解 ・認知症ケアの仕方の基本 【演習】 ・事例を用い、生活環境の工夫する点等をグループワーク
④家族への支援	1時間	【講義内容】 ・家族介護者の負担やその要因 ・家族への支援とは
合計	6	
8 障害の理解(3時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1時間	【講義内容】 ・障害の概念、障害者福祉の基本理念 ・ノーマライゼーションやリハビリテーション、ICFの考え方(復習も兼ねる)
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1時間	【講義内容】 ・身体・知的・精神障害の医学的側面、生活障害の基礎知識 ・障害にあわせたかかわり方支援等 【演習】 ・障害者体験(視覚・聴覚・身体障害)
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	【講義内容】 ・事例を通し、家族の心理を知る ・介護負担の軽減
合計	3	

9 ころとからだのしくみと生活支援技術（78時間）※実習時間3時間追加			
基本知識の学習	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	①介護の基本的な考え方	2時間	【講義内容】 ・理論に基づく介護 ・法的根拠に基づく介護
	②介護にかんするころのしくみの基礎的理解	2時間	【講義内容】 ・加齢に伴う変化・心理等 ・生きがいとは 【演習内容】 ・喪失体験・価値観の違いなど個人ワーク・グループワーク
	③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	7時間	【講義内容】 ・人体の理解（骨格・関節・筋・神経系等） ・神経・器官に関する基礎知識 ・バイタルチェックとは 【演習内容】 ・バイタル測定
生活支援技術の講義・演習	④生活と家事	3時間	【講義内容】 在宅介護における、自立に向けた生活・家事援助等の理解
	⑤快適な居住環境整備と介護	4時間	【講義内容】 ・介護保険における住宅改修や福祉用具の理解 ・介護保険外の福祉用具等の理解 【演習】 ・様々な福祉用具の使い方の理解
	⑥整容に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	4時間	【講義内容】 ・整容の意味 ・支援内容、技術内容等 【演習内容】 ・衣類の着脱・爪切り・整容
	⑦移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	14時間	【講義内容】 ・人の自然な動きとはどういうことか。 ・生理学的に基づいた動きを理解する。 ・座位の重要性を理解する。 ・視覚障害者の歩行 【演習内容】 ・寝返り～起き上がり～座位～移乗～移動を人（自分）がどう動いているか確認、実践。 ・移動福祉用具（車いす・杖等）の使用方法。 ・自立支援に基づく介助方法・視覚障害者の歩行介助

	⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4時間	【講義内容】 ・嚥下のメカニズム ・姿勢の管理等 【演習内容】 ・水分、食事の介助方法 ・口腔ケアの介助方法
	⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4時間	【講義内容】 ・入浴の意義 ・入浴介護のポイント、手順等 【演習内容】 ・全身浴・半身浴・洗髪・清拭
	⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	3時間	【講義内容】 ・排泄のメカニズム 【演習内容】 ・おむつ体験 ・排泄介助（トイレ・尿器・便器）の介助方法
	⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立にむけた介護	3時間	【講義内容】 ・睡眠のメカニズム等 【演習内容】 ・ベッドメイキング ・安楽姿勢（体位交換）の理解
	⑫死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	3時間	【講義内容】 ・終末期とは。 ・終末期介護の基礎的理解 ・家族との関わり等
生活支援技術演習	⑬介護課程の基礎的理解	3時間	【講義内容】 ・介護過程の目的・意義・展開 ・ケアマネジメントの基礎的理解 【演習内容】 ・事例使用しアセスメント・介護計画の穴埋め等行い、ケアマネジメントの理解を深め、チームアプローチを学ぶ
	⑭総合生活支援技術演習	7時間	【演習内容】 ・想定事例1、2 ・個人の習得度チェック
実習（追加3時間）		15時間	・訪問介護同行 3時間 ・デイサービス 6時間 ・老人ホーム 6時間
	合計	78時間	

10 振り返り（4時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①振り返り	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・評価シートを確認しあい、必要な部分の振り返り ・研修の再確認とまとめ
②就業への備えを研修修了後における継続的な研修	1時間	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の介護の動向を踏まえ、研修の必要性や、研修の案内、キャリアパスについて
合計	4	
全カリキュラム合計時間	133時間	

介護職員初任者研修カリキュラム 【②通信課程】

1 職務の理解（6時間）					
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法			
① 多様なサービスと理解	2.5時間	【演習】 ・福祉サービスとはどのようなものがあるか（イメージでも可）グループワーク。DVD視聴。 【講義内容】 ・グループワークを踏まえて、様々なフォーマル・インフォーマルサービスを理解			
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3.5時間	【講義内容】 ・サービス提供する現場の実際 ・サービス提供に至るまでの流れ ・社会資源との連携 ・現場職員の体験談 【演習】 ・どのような介護職になりたいか等グループワーク。			
合計	6時間				
2 介護における尊厳の保持・自立支援（9時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課題 番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 人権と尊厳を支える介護	6時間	1.5時間 P38-51	4.5時間 P52-67	課題1~8 穴埋1~10 選択1~10	【講義内容】 ・介護を必要とする人が有する権利とは何か（人権と尊厳の保持） ・介護に関する基本的な視点を理解する（ICF・QOL・ノーマライゼーション） 【演習】 ・身体拘束・虐待についてグループワーク等 【通信出題ポイント】 ・個人の権利を守る制度他、人権と尊厳を支える介護について
② 自立に向けた介護	3時間		3時間 P68-78	課題1~6 穴埋1~7 選択1~6	【通信出題ポイント】 ・介護における自立とは何か ・その人らしさを尊重するために、介護職として配慮すべき点の理解 ・介護予防、自立支援・個別ケアとは
合計	9時間	1.5時間	7.5時間		

3 介護の基本（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護職の役割、専門性と 多職種との連携	2 時間	2 時間 P80-95			【講義内容】 ・介護環境の特徴 ・介護の専門性について考え、求められるものは何かを学ぶ ・多職種連携の目的や展開 【演習】 ・介護に関わる職種について、個人・グループワーク等
② 介護職の職業倫理	1 時間	1 時間 P96-99			【講義内容】 ・職業倫理（利用者本位・自立支援等） ・個人情報の取り扱い方（個人情報保護法等）
③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2 時間		2 時間 P100-109	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点の理解 ・感染対策の基礎的理解
④ 介護の安全	1 時間		1 時間 P110-119	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・介護の特徴を踏まえ、自身の健康管理の必要性の理解 ・介護職に起こりやすいところからの病気や障害の理解 ・健康管理の方法
合計	6時間	3時間	3時間		

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（9時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護保険制度	3 時間	1.5 時間 P122- 127	1.5 時間 P128- 147	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・介護保険制度創設の背景および 目的、動向 【通信出題ポイント】 ・介護保険制度のしくみ等理解 ・制度を支える財源、組織、団体の 機能と役割
② 医療との連携とリハビリ テーション（訪問看護・ 医行為等）	2 時間		2 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・介護職と医療行為の実情と経過 についての理解 ・介護職と看護職の役割・連携に ついての理解
医療との連携とリハビリ テーション（リハビリテ ーション）	2 時間		2 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・リハビリテーションの理念と考 え方についての理解
③ 障害者自立支援制度及び その他の制度	2 時間		2 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・障害者福祉制度における障害の 概念 ・障害者総合支援制度の基本的な しくみについての理解
合計	9時間	1.5 時間	7.5 時間		

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護におけるコミュニケーション	3 時間	1.5 時間 P178- 183	1.5 時間 P184- 207	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・コミュニケーションの意義の目的 ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法 【演習】 ・障害別事例のロールプレイを行い、コミュニケーションの大切さ、伝え方等を理解する 【通信出題ポイント】 ・バイステックの7原則 ・障害別コミュニケーションの実際を理解
② 介護におけるチームコミュニケーション	3 時間	1.5 時間 P208- 217	1.5 時間 P218- 221	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点について学ぶ ・報・連・相の具体的な方法について学ぶ 【演習】 ・観察・記録について事例を使って演習 【通信出題ポイント】 ・チームコミュニケーションの大切さの理解
合計	6時間	3時間	3時間		
6 老化の理解（6時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	3 時間		3 時間	課題 1～6 穴埋 1～7 選択 1～6	【通信出題ポイント】 ・老化が影響を及ぼす心理や行動の個人差についての理解 ・社会的環境が与える影響について理解 ・身体的老化現象と日常的への影響について理解

② 高齢者と健康	3 時間	3 時間			【講義内容】 ・高齢者に多くみられる疾患の基礎的理解 ・高齢者に多い病気の原因や特徴、生活上の留意点を学ぶ 【演習】 ・自身が日常生活で（健康等）気を付けていることを個人・グループワーク。生活上の留意点を理解する
合計	6時間	3時間	3時間		
7 認知症の理解(6時間)					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 認知症を取り巻く状況	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・認知症の現状・認知症ケアの原則の理解
② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2 時間	2 時間			【講義内容】 ・脳の変化を学び、認知症の原因疾患の理解と対応法 ・健康管理について
③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2 時間	1 時間 P300- 309	1 時間 P310- 315	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・認知症ケアの仕方の基本を学ぶ 【演習】 ・事例を使い中核症状の理解や生活環境の工夫等ロールプレイやグループワーク 【通信出題ポイント】 ・認知症の人に関わる際の基本の理解 ・尊厳を守る視点を持つことについて理解
④ 家族への支援	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・家族介護者の負担を理解しレスパイトケアの重要性を理解 ・家族への支援の理解
合計	6時間	3時間	3時間		

8 障害の理解（3時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 障害の基礎的理解	1 時間		1 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】 ・障害の概念、障害者福祉の基本 理念について理解
② 障害の医学的側面、生活 障害、心理、行動の特 徴、かかわり支援等の基 礎知識	1.5 時間	1.5 時間			【講義内容】 ・障害の原因となる主な疾患を学ぶ ・心理的影響、障害の受容を学ぶ ・障害に合わせた関わり方等 【演習】 ・障害者体験(視覚・聴覚・身体障害)
③ 家族の心理、かかわり支 援の理解	0.5 時間		0.5 時間	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【通信出題ポイント】】 ・家族介護の肩代わり支援だけでない ことの理解 ・レスパイトサービスの理解
合計	3時間	1.5 時間	1.5 時間		
9 こころとからだのしくみと生活支援技術（7.5時間）					
項目名	時間数	通学 時間数	通信 時間数	添削課 題番号	講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要
① 介護の基礎的な考 え方	2 時間	1 時間 P2-6	1 時間 P7-9	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・理論に基づく介護を学ぶ 【通信出題ポイント】 ・法的根拠に基づく介護の理解
② 介護に関するこ ころのしくみの基礎的理解	2 時間	1 時間 P16-21	1 時間 P10-15	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・自己概念と生きがい、老化や障害の 受容に関する基礎的知識の理解 【通信出題ポイント】 ・学習と記憶、感情と意欲に関する基 礎的知識を理解
③ 介護に関するから だのしくみの基礎 的理解	7 時間	7 時間			【講義内容】 ・人体（骨格・関節・筋・）の理解 ・神経・器官に関する基礎知識 ・生命の維持の徴候を知る（バイタル サイン） 【演習】 ・バイタル測定

④ 生活と家事	4 時間		4 時間	課題 1～8 穴埋 1～10 選択 1～10	【通信出題ポイント】 ・生活を継続していくための家事の重要性 ・在宅における、自立に向けた生活・家事援助等の理解
⑤ 快適な住環境整備と介護	4 時間		4 時間	課題 1～8 穴埋 1～10 選択 1～10	【通信出題ポイント】 ・安心して生活するために必要な環境の整備、室内環境の確保の仕方について学ぶ ・介護保険における住宅改修や福祉用具の理解
⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			【講義内容】 ・整容の必要性と、整容に関連したところとからだのしくみを理解 ・整容の介護を行うための技術を身につける 【演習】 ・衣類の着脱・爪切り・整容介助等
⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	14 時間	14 時間			【講義内容】 ・移動移乗の必要性と自立支援 ・人の自然な動きの理解 ・生理学的に基づいた動きの理解 ・座位の重要性 ・視覚障害者の歩行等 【演習】 ・寝返り～起き上がり～座位～移乗～移動の実践 ・福祉用具の使用法 ・自立支援に基づく介助方法・視覚障害者の歩行介助
⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			【講義内容】 ・食事の必要性と嚥下のメカニズム ・姿勢管理の理解 【演習】 ・水分・食事の介助方法 ・口腔ケアの介助方法
⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4 時間	4 時間			【講義内容】 ・入浴・清潔保持の効果と意義 ・入浴・清潔保持に及ぼす影響 【演習】 ・全身浴・半身浴・洗髪・清拭等

⑩	排泄に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	7 時間	7 時間			【講義内容】 ・排泄の必要性・排泄のメカニズム 【演習】 ・おむつ体験 ・排泄(トイレ、尿器、ポータブルトイレ等)の介助方法
⑪	睡眠に関連したところからだのしくみと自立に向けた介護	4 時間	2 時間	2 時間 P250～ 259	課題 1～4 穴埋 1～5 選択 1～5	【講義内容】 ・睡眠環境について 【演習】 ・ベッドメイキング・安楽姿勢の理解 【通信出題ポイント】 ・睡眠の必要性と睡眠に関するところからだのしくみの理解 ・心身機能の低下が睡眠に及ぼす影響の理解
⑫	死にゆく人に関連したところからだのしくみと終末期介護	3 時間	3 時間			【講義内容】 ・終末期のとらえ方 ・終末期から死までの身体機能の変化 ・死に直面した人の心理状況・家族との関わり方
生活 支援 技術 演習	⑬ 介護過程の基礎的理解	3 時間	3 時間			【講義内容】 ・介護過程の目的と意義、展開について学ぶ ・ケアマネジメントの基礎的理解 【演習内容】 ・介護サービス計画書(ケアプラン)のポイントを、事例を使って学ぶ
	⑭ 総合生活支援技術演習	7 時間	【演習内容】 ・想定事例1, 2 ・個人の習得度チェック			
合計		75 時間	63 時間	12 時間		
10 振り返り (4時間)						
項目名		時間数	講義内容及び演習の実施方法			
① 振り返り		3 時間	・評価シートを確認しあい、必要な部分の振り返り ・研修の再確認とまとめ			

② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1 時間	・現在の介護の動向を踏まえ、研修の必要性や、研修の案内、キャリアパスについて
合計	4 時間	
全カリキュラム合計時間		130 時間